

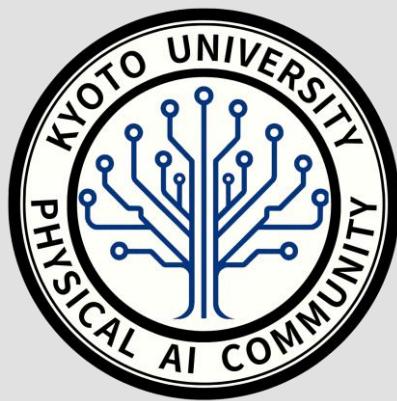
# KUPACの紹介

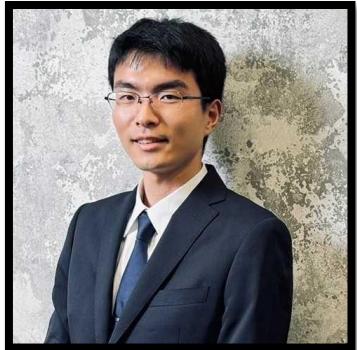
Kyoto University Physical AI Community

2025/09/12

京都大学 経済学部経済経営学科 3回

KUPAC 代表 大澤 衡正





## 大澤 衡正 / Osawa Kousei

### 所属

- 大学経済学部経済経営学科 3回生
- 京都大学機械研究会(2024年度副会長)
- 京都大学人工知能研究会

### 経歴

- 2023/4 : 京都大学機械研究会 入会
- 2024/11~ : 京都大学 森本研究室にてOAとして勤務
- 2025/4~ : NEDO NEP 開拓コース2025 FRとして活動
- 2025/6 : NHK 学生ロボコン2025 出場
- 2025/7/24 : KUPAC設立



# フィジカルAIについて

## フィジカルAIとは

現実世界をセンサーで認識し、コンピューターが思考することで、ロボットや車などの機械に自律的にタスクを遂行させるAI技術の総称

## フィジカルAIの重要性

労働力不足の解消、災害対応、医療・介護、物流の革新など、多くの社会課題解決にブレークスルーをもたらす可能性を秘めており、生成AIの次のステップとして世界的に注目を集めています



# 京都大学とフィジカルAI

今、京都大学はフィジカルAI領域の  
イノベーション・スタートアップ創出に注目しています。



今年8月には台湾当局とのスタートアップ振興イベントが開催され、室田浩司成長戦略本部長も「スタートアップの成長が期待できる」と発言されました。フィジカルAIは今非常に注目を集めている分野であり、この領域におけるイノベーション・スタートアップへの期待が高まっています。

(引用)

<https://iac.kyoto-u.ac.jp/news-topics/2084/>

台湾の国家発展委員会とジョイントシンポジウムを開催しました | NEWS & TOPICS | 京都大学成長戦略本部 (IAC)



# KUPACの設立

## 設立の背景

フィジカルAIは人工知能とロボティクスを融合した総合的な領域であり、多様な知識や技術を持つ人たちの協働がイノベーションの鍵となります。しかし、これまで所属や専門分野の垣根を越えた交流の場は限られていました。

## コミュニティ設立メンバー

代表



教員代表



共同副代表





# KUPACの理念

KUPACはフィジカルAI分野における、  
学生、研究者、企業が集う学際的なプラットフォームを構築し、  
イノベーションの創出を目指します

## KUPACの活動方針

- オープン性  
所属や専門分野を問わず、誰もが参加できる開かれたコミュニティにします
- 実践重視  
理論だけでなく、手を動かして学ぶことを奨励し、そのための環境を提供します
- コラボレーション  
研究室や学外の企業・団体との協力を重視し、積極的な連携を図ります



# KUPACの特徴と意義

## 学生主導のコミュニティ

日本の将来における課題である少子高齢化や気候変動、地域格差といった問題に対して、強い当事者意識を持つ若い世代が主体的に運営することで、それらの解決に挑み、イノベーションを創出していく場になることが期待されます。

## 京都大学発のコミュニティ

最先端分野の取り組みが東京に集中しがちな現状に対し、「学生の街」であり、医理工から人文社会科学まで世界レベルの研究者が集う京都から本コミュニティを発信することには大きな意義があります。近畿・東海地方に集積する日本のものづくり産業との地理的な近さを活かし、実践的な产学連携によるシナジーを創出していきます。



# 今後の活動予定

KUPACはフィジカルAIに誰もが触れられる環境の提供を目指します  
勉強会やハンズオンによる知識の共有だけではなく、  
共有の活動スペースやロボット(ALOHAなど)の整備に取り組みます

## 直近の活動予定

### 勉強会

最新の知見やテーマを共有・  
ディスカッションする勉強会

10月開催予定

- 1, 10/10 16:45-18:15
- 2, 10/20 16:45-18:15

詳細未定

### ハンズオン

実機ロボットを用いた  
ハンズオンを開催します

9/29 14:00-18:00  
開催決定！

「SO-100によるACTを  
用いた模倣学習体験」

### 研究・開発

フィジカルAIの研究・開発を  
共有・支援し、  
イノベーション創出を  
目指します

学内外の様々な組織・団体  
とも連携していきます